傳設計ニュースレター

令和8年1月発行（第57号）

今、傳えたいこと ～「約束を守る」ということ～

★美ら海！　沖縄某所にて★

あけましておめでとうございます。皆さま、年末年始はいかがお過ごしでしたか？　私は早くから飛行機を予約し、可愛い（？）孫に元気をもらって参りました。

さて、私たちがチームとして仕事を進めるうえで、何より大切にしたいのは「約束を守る」ということです。小さな約束であっても、それを積み重ねることで信頼が生まれます。弊社では「報告」の機会を意識的に設けています。週に一度程度、業務担当者全員で打ち合わせを行い、各自がいつまでに何をするのかを明確にしていきます。遅れそうなときは早めに共有することが欠かせません。途中で状況が変わることは誰にでもありますが、「伝えるかどうか」で結果は大きく変わります。

また、仕事には必ず「責任」が伴います。責任と聞くと重く感じるかもしれませんが、最終的に責任を取るのは会社です。一人で背負い込む必要はありません。大切なのは、任された仕事に誠実に向き合い、困ったときに周囲へ相談できることです。客観的な視点を得て問題点を整理することで、自分だけでは気づかなかった情報や解決策のヒントが見つかることもあります。相談することは弱さではなく、むしろ問題解決への第一歩であり、「責任」の表れでもあるのです。

円滑に業務を進めるためには、情報共有と共通認識を持つことも欠かせません。図面や仕様、スケジュールなど、仕事は多くの要素が連動して進みます。誰かの思い込みがすれ違いを生むこともあります。だからこそ全員で話し合い、遠慮なく確認し合える環境をつくり、同じ目線で仕事を進めることが重要です。

そのためにも、社内に「話しやすい雰囲気」をつくることを、私はとても大切にしています。何かあればすぐ声をかけられる空気があるだけで、ミスは減り、安心して働くことができます。コミュニケーションの質は、会社全体の力を左右するものです。

これからも、互いを尊重し合い、信頼し合える職場を一緒に育てていきましょう。基本を大切にしながら、よりよいチームづくりに取り組んでいきたいと思います。

（代表取締役　岩本　茂美）

岩 本　茂 美（いわもと　しげみ）　株式会社傳設計 代表取締役

≪最近のこと≫

出張が続き、業務に追われているこの頃です……。それでも、月に2回はゴルフに行きたいと計画を練っております。皆さまは、どのように気分転換をされていますか？

★大学訪問始まりました★

★今回の説明会では
いくつかのグッズを準備しました★

11月に県内の大学の業界説明会に参加しました。

当日、担当の先生から、「学生に多くの会社を回らせたいので、3分でお願いします。」と無茶ぶりされました。

さて、何から伝えたらいいのか？　我々は、何を考え、将来どう進もうとしているのか。限られた時間の中で自社の強みを伝えるのはとても難しかったです。

時間の長短に関わらず、自社のことを伝えるために資料の準備もしっかりすることが重要だと感じました。他社の方は、時間的に厳しい中でもしっかり学生さんの気持ちを掴んでおられたようで素晴らしいと思いました。私もその話を聞きながら、資料だけでなく「ことばで伝える」ことにも努力していく必要があると思いました。今後に生かしていきます。

今年も、いろいろな大学にお邪魔します。写真のようなブースがあれば傳設計です。ニュースレター見ましたとお声かけください！

（岩本（玲））

★建築とDX★

こんにちは。田中です。デジタル化が急速に発展してきた近年、ChatGPTをはじめとしたAIの技術は皆さんにも馴染みのあるものとなってきていると思います。そこで、今回は我々建築に携わる者がどのようにAIと付き合っていくのか、についてお話ししていこうと思います。

まずタイトルにあるDXについてご説明いたします。DXとは（Degital Transformation）の略で、デジタル技術の浸透により、人間の活動を良い方向へと変化できる、という考え方のことです。このDXは分野を問わず注目され、様々な企業でAI技術を導入しようという動きが広がっています。

ここで話は少し変わりますが、日本の労働生産性は現在G7の中で最下位であり、その中でも建設業の労働生産性は低い数字となっています。さらには建築士の高齢化が進んでおり未来の担い手不足が懸念されています。つまり人材確保はもちろんのこと、業務の効率化を推進することが急務となっているわけです。

そこでその一助となるのがAI技術であると考えられ、ベテランの方々のノウハウを若手設計者が教授するための手法にもAIが活用されることが期待されています。

ある企業では、社内の蓄積された資料をAIが整理しデータを構造化するソフトや、図面チェック等の基準となる仕様や条例、議事録をAIに理解させ、プロジェクトごとに仕様を出してくれるソフト等がプレリリース段階ではありますが開発されているそうです。また、現在BIMで設計した3Dモデルの自動チェックをAIが行ってくれるソフトの開発も進んでいるそうで、目指すところは我々が使う自然言語でAIに指示ができるようになることだそうです。さらには、設計者が自然言語でAIに指示を送り、そのAIに設計者が求めるソフトウェアを作成させることも目指しているそうです。

私も目まぐるしい勢いで発展を続けるデジタル社会に理解を示すことから始められたらと思います。

（田中）

設 計 業 務　T O P I X

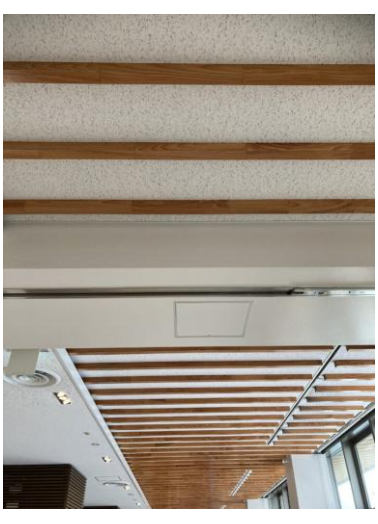
NEW&HOT

こんにちは。設計部の中谷です。今回は、最近よく耳にする「木質化」についてお話します。

近年の木質化の流れの背景には、SDGsや脱炭素社会の実現があり、公共建築をはじめ木材を積極的に採用する取り組みが進んでいます。写真は先日行った奄美空港の天井の写真です。

エスカレーターを上がってくる動線に対して直交方向に天井木ルーバー設置することで、遠くほど木が連続して見えるようなデザインになっています。いろいろな使い方ができそうな木ですが、設計する上では、不燃や耐火要求等を満たす必要があるので、どこでも好きな箇所に木材を使用できるというわけではありません。その一方で、法改正が進み、木質化・木造化のあり方も変わりつつります。

今後は木材についての知識を少しずつ深め、日々の設計へ活かしていきたいと思います。　（中谷）



★奄美空港 天井★

★木を使う設計★

「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG.OFFICE

〒810-0073　福岡市中央区舞鶴1-6-13　舞鶴DSビル
TEL: 092-737-1500（代表）　／　FAX: 092-737-1501
URL: https://www.dens.co.jp/
E-mail: dens@dens.co.jp